高松キャン	系松キャンパス共通 平成25年度							
科目名	1		高橋 宏明					
	微分積分 I Differential and Integral I			担当教員	星野歩			
学 年	2年	学期	通年	単位数	必修	単位数	4	
分 野	— ^治	授業形式	講義	単位区分	13120015	単位区分	履修単位	
学習目標	この教科では、 ・微分積分のための準備 ・微分積分について、概念の理解、用語・記号・定義式・公式への習熟と、基本的な計算と応用などを学習する。 教科書に沿って各項目ごとに基本となる理論、概念や新しい用語、記号の説明、例題の解説を行っ							
進め方	を後、教科書、問題集の演習問題を各自が解いて							
学容内	学習項目(時間数) 1. 指数・対数(16) (1)指数関数 (2)対数関数 2. 微分・積分(29) (1)・微分法 [前期中間試験](2) 試験返却(1) (2)微分法の応用 (3)積分法 3. 数列(23) (1)数列とその和			解対単導と接習の概不理す積と数列のである。	学習到達目標 ・指数の定義、指数法則、指数関数の定義を理解し、簡単な計算問題を解くことができる。・対数の定義および基本的な性質を理解し、簡単な計算問題を解くことができる。・導関数の公式を用いて簡単な関数を微分することができる。・接線の方程式を求められる。学習・教育目標:B-1 ・微分法を用いて、関数の増減を調べ、グラフの概形を描くことができる。・不定積分、定積分の定義とその基本的な性質を理解し、簡単な関数の不定積分、定積分を計算することができる。・積分法を用いて、簡単な図形の面積を求めることができる。・数列の概念を理解し、等差数列、等比数列に			
	前期末試験 試験返却(1) (2)漸化式と数学的帰納法 4. 関数 (10) (1)関数 5. 極限 (19) (2)数列の極限 [後期中間試験](2) 試験返却(1) (3)関数の極限 VI. 微分法 (16) (1) 微分法 後期末試験			学習・教的で関うが数ララのに、教ののでは、教ののでは、教ののでは、教ののでは、教ののでは、教ののでは、教ののは、教のの	関する基本的な計算問題を解くことができる. 学習・教育目標: B- 1 ・数学的帰納法を用いて簡単な証明問題を解くことができる. ・分数関数や無理関数の性質を理解し、それらのグラフを描くことができる. ・数列の極限の概念を理解し、簡単な数列や無限級数について、その極限や和を求めることができる. 学習・教育目標: B- 1 ・関数の極限の概念を理解し、基本的な関数について、極限値を求めることができる. ・微分の概念を理解し、基本的な関数について、極限値を求めることができる. ・微分の概念を理解し、基本的な関数について、導関数および微分係数を求めることができる. 学習・教育目標: B- 1			
	試験返却(1)							
評価方法	4回の定期試験の得点を平均したものを 80%, 宿題, 小テスト等の提出物を 20%とし, それに受講態度, 発表等の授業への取り組みなどを加味する.							
履修要件	特になし							
関連科目	基礎数学 I , II (1 年) \rightarrow 微分積分 I (2 年) \rightarrow 微分積分 II , 数学解析 (3 年)							
教 材	教科書:「新版数学 II, 数学 B, 数学 III」(実教出版) 問題集:「アクセスノート数学 II, 数学 B, 数学 III+C」(実教出版) 「チャート式 基礎と演習シリーズ II+B, III+C」(数研出版)							
備考								